

令和2年(2020年)7月豪雨  
非常災害対策本部会議(第11回)議事録

日時:令和2年7月27日(月)17:52~18:11

場所:災害対策本部会議室(中央合同庁舎8号館3階)

1. 各省庁の対応状況等について

(内閣府防災)

- まず私から関係省庁の皆さま方に、現地派遣の職員または交代要員に関する健康管理の徹底をよろしくお願ひしたい。熊本県の方からも依頼されているチェックリストによるチェック、毎日の検温等、感染防止対策の徹底を改めてお願ひしたいと思う。

(気象庁)

- 見通しのポイントとして、東北地方と東日本においては、29日にかけて大雨の恐れがある。西日本でも大気の状態が不安定であって、本日27日を中心に大雨に警戒が必要。
- 概況であるが、梅雨前線が対馬海峡から日本海を通過して、東北地方に伸びていて、西日本、東日本では、局地的に激しい雨が降っている。
- 昨日からの24時間では、九州北部や東海地方中心に大雨となり、福岡県では300mmを超えたところがある。
- 前線上に低気圧が発生して、明日東北地方に接近するため、西日本では、本日を中心に、東北地方、東日本では、明日にかけて大雨となる見込みである。その後、東北地方、東日本では前線が残るため、明後日29日も警報級の大雨となる可能性があり、大雨となる恐れがある。
- 予想される雨量であるが、明日12時までの24時間雨量は、九州北部、東北、東海地方で150mm、その後、明後日12時までの24時間雨量は、東北、北陸、東海地方で100~200mmの見込み。
- 警戒事項として、引き続き、土砂災害に厳重に警戒、低い土地の浸水や河川の増水・氾濫に警戒・注意が必要である。
- 熊本県の見通しであるが、熊本県の被災地においては、本日は曇時々雨、明日は曇所により雨であり、雷を伴う見込みである。明日12時までに予想される24時間雨量は、多い所で100mmの見込みである。

(防衛省)

- 今回の災害派遣では、発災後約3週間を経過し、自衛隊の支援への所要は減少傾向にあ

り、主要な活動はすでに終了している。

- 現時点では、明日 28 日の火曜日であるが、球磨村神瀬地区において災害廃棄物処理を予定している。いずれにせよ、引き続きコロナウイルス感染症対策を含め、関係省庁や自治体と密接に連携し、しっかりと対応してまいる。

#### (国土交通省)

- 本日もテックフォース 298 名を派遣し、球磨村を中心に被災状況調査を進めている。八代・人吉間の道路啓開は、今朝時点で約 8 割まで進捗し、8 月上旬を目途に啓開ルートの確保を進めてまいる。また、流出した人吉市の通学路となっている県道の西瀬橋において、23 日から仮橋を設置する工事に着手した。岐阜の国道 41 号については、8 月 31 日頃の交通開放を目途に復旧を進めてまいる。
- また、河川についても球磨川の 9 つの支川の復旧を、国が権限代行するよう本日、河川管理者の熊本県から要請があったので、早急に対応を決定したいと考えている。
- 鉄道については、23 日に J R 東海高山線で運転再開となった他、J R 九州鹿児島線も 8 月 3 日に全区間で運転再開の見込みとなった。また、運休区間については、バスによる代替輸送などにより、地域の生活の足の確保を進めてまいる。
- 一方、未だ多くの方が不自由な避難生活を強いられており、長引く避難生活の環境改善のため、ホテル、旅館から約 1,900 名分の受け入れの意向が示されており、引き続き、関係機関と連携して、受け入れ促進に向けた調整を進めてまいる。避難所におられる被災者が早期に帰宅でき、あるいは、新たな住まいで暮らしが再開できるよう二次災害の防止対策や住まいの確保を進めてまいる。引き続き、被災者、被災地に寄り添った復旧・復興に全力で当たってまいる。

#### (厚生労働省)

- ライフラインとして水道の状況を報告する。継続的な降雨があったため、最大で約 3 万 2 千戸の断水があった。現在までにほとんど解消した。残るは 260 戸となっている。引き続き応急給水の対応をとっている。
- 厚生労働省の所管施設として、医療施設と社会福祉施設であるが、医療施設については浸水等の被害自体は、全て解消したという報告を受けている。社会福祉施設については、最大 8 県 148 施設で浸水等の被害があったが、現在は 4 県の合計 36 施設において浸水等の被害が続いている。これらの施設においても入所者を他施設に搬送し避難を継続するなど、必要な対応がとられていることを確認している。
- 避難所の感染症対策についてであるが、熊本県から要請を受けて厚生労働省で調整をした結果、DHEAT を全部で 9 班派遣してきた。保健師の応援派遣について、7 月 6 日からこれまでに 31 班 112 人を派遣し、現在は、球磨村を始めとした避難所における感染症対

策などの支援を行っている。また、厚生労働省から派遣した職員は、24日まで県内22の避難所を巡回しており、感染症対策がしっかりとれていることを確認している。

(総務省)

- まず通信関係であるが、固定電話について、通信ビルはすべて復旧済みである。熊本県内において、利用者宅近辺までの電柱や通信ケーブル等は現時点で罹災が確認された166箇所のうち、135箇所が復旧済みである。残りの箇所は今週半ばごろの復旧を目指している。また、利用者宅までの引き込み線等について、今月末ごろの復旧を目指している。一方携帯電話については、立入制限区域等を除き主要3社すべてにおいてエリア復旧済みである。
- また、応援職員の派遣については、熊本県内の被災8市町村に対して九州・中国ブロックの13県市から延べ2,662名の職員が派遣をされ、避難所運営や罹災証明書交付業務などの支援を行っている。

(環境省)

- 熊本県の人吉市、球磨村それから八代市で災害廃棄物の課題が残っている。人吉市については防衛省・自衛隊と協力した大型災害ゴミ一掃大作戦を前半部で実施したが、その後、町なかの災害廃棄物の収集運搬に関して民間、それから他都市の支援を集中的に投入している。さらに、災害ゴミが搬出困難な高齢者、独居老人のお宅からの土砂・ごみ出し支援パッケージというものを現在進めており、ボランティアの募集の拡大に加え、民間業者の投入も進めている。現在このニーズを把握するため、被災者の方への案内を25日から実施している状況である。
- 続いて球磨村であるが、自衛隊によって渡地区それから一勝地地区で大型ごみ搬出の寄り添い支援を進めてきた。25、26日は渡地区で再度実施し、先ほどの防衛省の説明のとおり、28日に神瀬地区での実施を予定している。さらに、鹿児島市それに続いて、福岡市が収集運搬の支援をすべく現在準備を進めている。
- 八代市は坂本地区の被害が大きかったが、この25、26日に市の清掃業者などを中心に町なかに堆積している可燃ごみの集中回収を実施した。
- 最後に、25日付けで人吉市が一人暮らしの老人の方など支援の希望を募集するチラシを自治会長、避難所へ配っている状況である。27日に市のホームページにもこれを掲載する予定になっている。

(農林水産省)

- 農林水産省では生活支援パッケージの取りまとめにあたり、被害市町村の全容把握に努めている。農作物の被害で128億円の被害がある。被害の状況としては今年の台風19号

と似通っていて、ハウスが例えば流されたり、機会が水没したりと言う様な被害がある。また、7,860箇所 of 農地への土砂流入がある。これは河川の氾濫等に伴い、農地が損傷を受けているような状況である。農業用利用施設、農地等の損傷で約400億弱の被害、そのほか林野関係でいわゆる林道の被害、山腹崩壊で約430億の被害が出ている。全体で農林水産関係1,000億弱がでており、引き続き被害の額が積みあがってくるものと思っている。このほか、大臣が現地調査またはウェブ調査等で、いわゆる全体の実態の概要の調査をしている。それを踏まえて、地元で不安が出ないような形での支援パッケージを、今年の台風第19号の総合的な支援対策を基本に今整理をしている最中である。

## 2. 非常災害対策本部大臣発言

(防災担当大臣)

- 最初の大雨特別警報からこの連休で3週間が経過しましたが、今朝時点で、熊本県を中心に全国で約1,700名の方が避難所生活を余儀なくされております。
- 避難所においては、マスクや消毒液の設置、十分なスペースの確保などの、新型コロナウイルス感染症対策、また冷房機器の設置などの熱中症対策を踏まえた、避難者の健康管理に関わる取組が行われている
- こうした中、生活と生業の再建に向けた取組が進んでいる。
- 住まいの確保については、熊本県内の6市町村において、214戸の建設型応急住宅の建設に着手している。この4連休の間には、山江村と人吉市の団地で木造仮設の建設作業が本格的に開始をされた。また、民間賃貸住宅の借上げによる賃貸型応急住宅についても熊本県内の16市町村で入居の受付が開始されておったが、さらに10市町村において追加で受付が開始をされている。
- 罹災証明書の交付の前提となる被害認定調査については、熊本県内をはじめとする各被災市町村において順次進められており、特に被害の大きかった熊本県内では、約5,800棟の調査が実施され、15市町村において罹災証明書の交付が開始をされている。
- 災害からの復旧に向けた取組も進められている。4連休中に被災地では約5,500名の皆様がボランティアとして参加いただいた。多くの力強いご支援に対して心より御礼申し上げます。
- これからも引き続き皆様の支援が必要である。平日も人吉市へのボランティアバスが運行されるとともに、明日から3日間は相良村へも運行される予定である。参加にあたりましては、被災地の状況や情報をよく確認いただいたうえで、新型コロナウイルス感染症対策に加えて、熱中症にも十分ご注意をいただき、引き続き被災地の一日も早い復旧・復興に向けて力強いご支援をお願いします。
- 国としても、ボランティアによるご支援のみならず、地元自治体や関係機関と連携し、家屋からの土砂やごみ出しを加速するための支援を準備するなど取組を推進

しているところである。

- 最後に、被災地では大雨や土砂崩れ等への注意が必要な状況が続いている。関係省庁におかれては、引き続き天候に留意しつつ、災害復旧事業に速やかに取り組んでいただくとともに、今週中の「被災者の生活と生業の再建に向けた対策パッケージ」のとりまとめに向けた積極的な検討を改めてお願いします。

(以上)